

選市長4市中空知

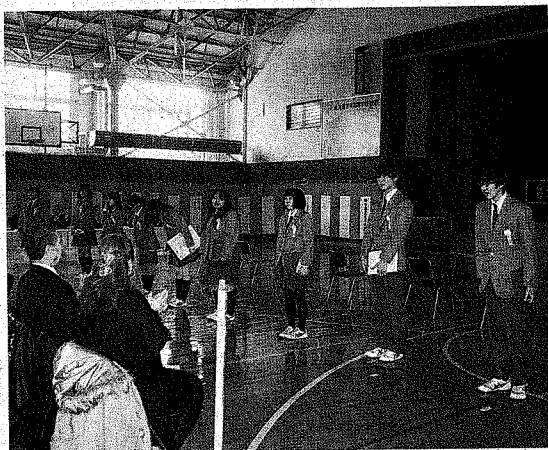
無投票の公算大

人口激減で人材不足？

かつて石炭産業で栄えた中空知地域。4月26日投票の統一地方選後半戦では芦別、赤平、滝川、砂川の4市長選が行われるが、今のところいずれも無投票となる公算が大きい。急速に進む人口減少は、まちのリーダーの選出を難しくしている。

「こんなことになる。1989年当時、約170人いた卒業生は9人にまで激減。孫娘は4月から市内の老人介護施設に勤める。地元に残ってくれたのが、せめてもの救い。」

とほ……。3月1日、66年の歴史に幕を閉じた道立赤平高（赤平市）。孫娘の卒業式に出席した高松守男さん（76）はため息を漏らし



66年の歴史に幕を閉じ、道立赤平高の最後の卒業生となった9人—赤平市で

める。12年前の初出馬の際は連合などの支援を受けて三つともえの戦いを制し、今回後継指名しないまま引退する高尾弘明市長（70）は「人材が乏しくなった」と現状を嘆く。

中空知5市5町の人口は石炭産業最盛期の1959年には約32万人に上ったが、2014年には約11万人にまで激減。滝川市の前田康吉市長（60）も無投票での再選が濃厚だが

「（有権者からの）白紙委任とは受け止めてはいない」とし、「滝川を、人口減少を食い止める中空知のトップ

あすを選ぶ

北海道 15統一地方選

立候補予定者

（敬称略）

◆芦別市長選

清沢茂宏52 無現①

◆赤平市市長選

菊島好孝65 無新

◆滝川市長選

前田康吉60 無現①

◆砂川市長選

善岡雅文64 無現①

（丸数字は当選回数）

ランナーにしたい」と、近隣市町と連携した定住自立圏構想の推進を公約に掲げる。

昨年11月の奈井江町長選で8選を果たした空知町村会長も務める北良治氏（78）は、この地域の生き残り策とし

人口減の危機克服する

知事選 高橋氏が公約発表

4選を目指して道知事選への立候補を表明している高橋はるみ知事（61）は17日、札幌市で記者会見を開き公約を発表した。高橋氏は、急速に進む人口減少と高齢化を北海道が直面する危機と指摘。これを克服するため「私自

身が新たな発想で今まで以上に大胆に行動したい」と訴えた。具体的重点政策としては、道産食品輸出1000億円の実現▽外国人観光客300万人の達成▽結婚の希望をかなえる環境づくり▽教育の充実▽北海道

「対抗馬出たら降りる」

芦別、砂川両市も現職以外に表立った立候補の動きはなく、無投票となりそう。再選を目指す善岡雅文・砂川市長（64）は「対抗馬が出たら私は降りる」と周囲に公言してきた。

「地域がどん底まで疲弊した以上、争いは避けたい」との思いからという。一方、赤平市の60代の自営業男性は「選挙後のしこりを残したくないが、政策論争する光景が見られないのは、やっぱり寂しい」と本音を明かす。

て、農業を中心に教育とエネルギーを加えた三つの柱を掲げる。その三本柱で活路を見いだそうとしているのが隣接する南空知の三笠市だ。同市も12年9月、人口1万人を割った。赤平高の卒業生らが涙でまなびやに別れを告げた同じ日、市立三笠高では1期生の卒業式が開かれた。3年前、開校が決まっていた道立三笠高を市に移管し、調理師やパティシエらを養成する食物調理科を開設して再出発した。道内各地から生徒が集まる人気ぶりで、今春の入試では千集県か



知事選に向けた公約を発表する高橋氏。札幌市中央区で

独自の歴史文化の保全▽防災・減災対策の推進—などを掲げた。エネルギー政策については「将来、原発に依存しない北海道を目指す」とした。対抗馬と目されるフリーキャ